

# ムーアカデミー通信



Aichi Kaisho Forest Center News Letter Vol.25 Winter-Spring 2013



写真：スズカカンアオイ（1月撮影）

スズカカンアオイ

生育場所 林床



カンアオイという名のとおり  
1月中旬頃から花が開きます。  
この地域にはヒメカンアオイも  
生育していますが、海上の森で  
はスズカカンアオイの方が広く  
分布しているようです。

寒が過ぎれば、もう春ですね。

## 特集 海上の森はいま

平成24年度あいち海上の森大学閉校式を行いました  
センター来館者が15万人を突破しました

**この人!** <ホテルマンの「海上の森」間伐奮闘記>

(株)ナゴヤキャッスル 鴻野亜弥子さん

### 情報ライブラリー新着図書を紹介します 愛知県地域別植物誌(2) 瀬戸市の植物

瀬戸市には、海上の森以外にも豊かな自然が残っている場所がまだまだたくさんあります。この本では、瀬戸市で行われた調査の結果を基に、瀬戸市に生育している植物の一覧と、その中でも貴重な植物を紹介しています。多くの種類の植物が身近にあることに驚かされるとともに、貴重な植物が開発や環境の変化など、さまざまな要因によって瀬戸市から姿を消してしまうかもしれないことについて考えさせられます。

発行：愛知県植物誌調査会



特集 海上の森はいま

平成24年度あいち海上の森大学閉校式を行いました

シジュウカラが愛らしい姿を見せるあいち海上の森センターにて、平成24年12月1日、あいち海上の森大学の閉校式が行なわれました。第6期となる今年度は、24名（森林再生コース9名、国際交流コース5名、市民活動コース10名）の方が修了され、マリ クリステイヌ学長から一人一人に修了証書が授与されるとともに、石田 愛知県農林水産部技監及び浦井 あいち海上の森大学運営委員から祝辞を受けました。



また、今回で5年目になりますが、国際交流コースの方に、国際ソロプチミスト瀬戸の会員の皆様が見守る中、江藤会長さんから奨学金の贈呈と温かい励ましの言葉をいただきました。



修了生の中には、既にNPO団体に加入しているなど、市民活動によって活躍されている方もありますが、閉校式に先立ち行なった意見交換会では、大学での成果を踏まえ、これからそれぞれ立場や地域等でどう活動していくかという活動計画案のグループ発表を行い、活発な意見が交わされました。そして、今後の活動について活動宣言を一人一人行ないました。今後のご活躍と成果を期待しております。

センター来館者が15万人を突破しました

あいち海上の森センターでは、平成24年11月6日（火）午前に来館者15万人を達成しました。

来館者15万人目は、瀬戸市在住の北村さんご一家で、長男の一（かず）くん（4歳）、弟の士（つかさ）くん（2歳）、お父さんの優治さん、お母さんのさとみさんの4人で来館されました。北村さんご一家には、ムササビの貯金箱、自然観察ハンドブックなどの記念品が贈呈されました。

平成18年9月25日に開館して以降、多くの方々に来館いただき、誠にありがとうございます。

これからも人と自然をつなぐ施設でありたいと思います。



海上の森散歩



屋戸川沿いの歩道

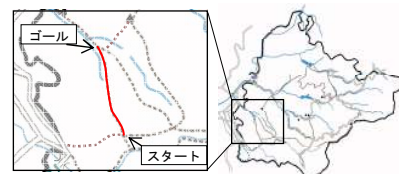
屋戸川沿いの歩道の周囲は斜面にシダが茂る明るい林で、地面は比較的水はけが良く、所々ごろごろした石が転がっています。歩道周辺の沢沿いには海上の森の春の花、シデコブシが生育しています。今年は花芽が多く観察され、開花が楽しみです。また、4月には歩道沿いのコバノミツバツツジが花を咲かせ、道を桃色に彩ります。



さらに進むと、湿地を観察できる歩道に出ます。3月中・下旬にはハルリンドウなど早春の花を楽しむことができます。

春は様々な花に出会えますが、生物の保護のため、歩道以外の所には立ち入らないでください。

所要時間：約20分  
センターから10分





この人!

## &lt;ホテルマンたちの「海上の森」間伐奮闘記&gt;

(株)ナゴヤキャスル 総務部環境担当課長 瀧野亜弥子さん

当社は2009年より「海上の森企業連携プロジェクト」に参画させて頂き、今年で5年目を迎えます。毎年2回ずつの活動を経て、これまで参加した従業員は延べ287名にもなりました。

なぜホテルが森林保全活動を!?と思われるかもしれませんが、当ホテルは名古屋城の緑豊かな環境に囲まれ、多くのお客様にその環境を楽しんで頂いています。開業以来、こうした恵まれた環境を享受してきた私たちが、今後は逆に地域の環境に貢献したいと考えていた時、このプロジェクトに出会いました。

しかし本格的な間伐作業ともなると、もちろん全員が初体験! 指導員の方に丁寧に教えては頂けるものの、最初はノコギリの扱いにも悪戦苦闘。予想以上にハードな作業に「わ〜」「きゃ〜」と大騒ぎし、翌日は全身筋肉痛という有様でした。しかし3年という月日は恐ろしいもので、参加回数の多いベテラン組になると「この方向だと“かかり木”だね」などと一丁前な会

話が飛び交います。

経験者曰く、一度体験するとやみつきになってしまうとのこと。海上の森の澄んだ空気や自然の美しさは勿論、間伐した場所に日光が差し込んだときの喜びや、木が「ドスン」と大きな音を立てて倒れたときの爽快感は格別です。また日頃は別の部署の仲間と汗を流す楽しみ、林道ですれ違う方々と「こんにちは」と声を掛け合う清々しさ。どれも日頃忘れかけていた大切なものを思い出させてくれます。

今年5年目に入り、今後は社員の家族も含めた交流や、更にはホテルのお客様向けの自然体験プログラムなども将来的に企画できれば、この素晴らしい海上の森をより多くの方にとって頂けるのではないかと考えています。

<プロフィール> 1969年生まれ。名古屋市在住。2009年よりホテルの環境担当の職につく。全社で「ECO LIFE PROJECT」を立ち上げ、海上の森での里山保全活動をスタート、今年で5年目を迎える。



センター職員の随想リレー

かたりべのひと言!

## 鳥のくまさん

「ハチクマ」と聞いてどんな生き物をイメージしますか? 私は即座にハチミツが大好きな熊、そう、絵本でよく見る赤いベストを着た「くまのプーさん」を思い浮かべました。

この通信をご覧のみなさんにはご存知かもしれませんが、「ハチクマ」は蜂を主食とするクマタカに似た猛禽類です。ウミネコ・イヌワシなどなど身近な生き物になぞらえて名前づけられるのはよくあることですが、「ハチクマ=鳥類」とは予想外でした。渡りをする鳥なので今出会えないのがとっても残念です。

海上の森にはいろいろな種類の鳥たちが住んでいます。今の時期でも、高い空や小枝、落ち葉で覆われた地面に目をこらし、耳をすませばいろいろな鳥たちに出会うことができますよ。かく言う私、この夏に「鷹のハチクマさん」をしっかりと見るためにも度の合わなくなったメガネを買い替えなきゃ、と考えています。(K・Y)

森のなかま ギフチョウ *Luehdorfia japonica*

ギフチョウは本州のみに生息する特別なチョウで、四国や九州では確認された例がないようです。1883年の春、岐阜県飛騨金山で発見されたことからギフチョウと命名されました。

ギフチョウは4月上旬から年1回だけ羽化します。この年に産み落とされた卵は5月頃さなぎに蛹となり、蛹のままで冬を越します。コナラなどの落葉樹林の山ろくで個体数が多く、常緑樹林では少ないようです。

海上の森では、4月中下旬頃に観察されています。雨や曇りの日は姿を現さず、良く晴れた日に運が良ければ、コバノミツバツツジなど春の花を求めて活動する様子が観察できると思います。発見するとつい捕獲したくなるかもしれませんが、**捕獲は禁止ですよ。**(SK I)



額目アゲハチョウ科ギフチョウ  
(右) 展開している羽のスケッチ  
(左) 止まっているときのスケッチ  
羽は、黄色地に縦の黒条が明瞭で、後羽の外縁に沿って、青色、橙色、赤色の紋が美しいチョウです。

# 展示の目玉



## 個性的な冬芽

落葉樹はどの木もすっかり葉を落とし、冬の海上の森は少しさびしい姿になっています。しかし、枝先などには冬芽があり、春に向けての準備を整えています。

葉を落とした枝などをよく見ると、人や動物の顔などを連想させるおもしろい葉痕ようこんがあります。冬芽じたいにも、ウロコのような《鱗片》りんぺんで芽を包むもの、毛が密生しているもの、表面に粘液がついているものなど大事な芽を守る

いろいろな工夫がみられます。

春になり、新芽が芽吹くまでの間冬芽を観察して、冬ならではの楽しみを海上の森で見つけてみてはいかがでしょうか。1階センター展示室に冬芽コーナーを設置しています。冬芽にどのような特徴があるかを学習できますのでご覧下さい。



# 平成25年度開催予定イベント紹介

あいち海上の森センターでは、自然を身近に感じてもらうための体験学習プログラムを実施しています。来年度のプログラムでは、以下の内容を予定しております。

## ☆調査学習会

森の中を歩き、植物・昆虫・野鳥・きのこなど海上の森の自然について少し専門的に学習します。（対象：小学生以上、小学生は保護者同伴）



イベントの様子 上：調査学習会  
下：森のようちえん

## ☆里と森の教室

海上の里にある田畑や周辺の山林で、稲作や畑仕事、山仕事を体験して里山の魅力を学びます。（対象：小学生以上、小学生は保護者同伴）

## ☆森の楽校・森のようちえん

インタープリターと一緒に森に入り、自然と触れ合う楽しさを学びます。（対象：小学生以上、小学生は保護者同伴（森の楽校）、幼児と保護者（森のようちえん））



※予定ですので、紹介したイベント内容は変更されることがあります。詳細なイベントの日程等は3月下旬発表予定です。お申し込みの際はあいち海上の森センターホームページ（<http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>）または3月下旬以降にセンター及び関連施設にて配布される体験学習プログラムをご確認ください。

「愛・パーク」開園4周年イベント「海上の森ワークショップ」

工作体験「森のオーナメントづくり」

日時：平成25年3月23日（土）10:00～15:00 場所：あいち海上の森センター2階 工作室  
当日受付・入退場自由

遊歩施設で自然観察ビンゴに挑戦し、森の素材で写真立てやモバイルなどを作ります。

問い合わせ先：あいち海上の森センター（〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841 E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

### 編集後記

なかなか寒さが和らぎませんが、日差しは次第に暖かくなっています。森の中で鳥の声を聞きながら、アセビの花や膨らみ始めた冬芽を眺めつつ散策すると、季節は着々と春に向かっていくことを感じます。

編集・発行 あいち海上の森センター（ムーアカデミー）

発行日 平成25年3月12日

〒489-0857 瀬戸市吉野町 304-1

TEL: 0561-86-0606 FAX: 0561-85-1841

E-mail: kaisho@pref.aichi.lg.jp

URL: <http://www.pref.aichi.jp/kaisho/>

Twitter: [http://twitter.com/kaisho\\_center](http://twitter.com/kaisho_center)

